

# 新幹線プレス

2018年7月20日 No.390

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 輸送障害対策に問題あり！！

2018年7月6日～7日の西日本豪雨によって輸送障害が発生し、東海道新幹線は大幅な列車遅延や運休により多くの乗務員が睡眠不足で翌日の乗務を行いました。

乗務員や列車の運用に関して安全運行に問題がある事象はこれまでも繰り返されており、看過できない問題として以下の項目について本日申し入れを行いました。

1. 西日本豪雨の輸送障害の状況を明らかにすること。
2. JR東海管内の運休列車を含め輸送障害の状況を明らかにすること。
3. 新大阪場面で列車遅延が増大した理由を明らかにすること。
4. 運転士、車掌（本線・短区間・短区間巡回）の運用は何処が行っているのか明らかにすること。
5. 新大阪駅での発車順序がバラバラで旅客に大変な迷惑を掛け苦情を受けた。発車順序を変更した理由を明らかにすること。
6. 乗務員に乗り継ぎ列車の前運用と発車順序の変更を伝えなかった理由を明らかにすること。
7. 乗務員の翌日の勤務を把握せず担当列車の変更を行った理由を明らかにすること。
8. 乗務員、特に運転士の休養確保はどのように行ったのか明らかにすること。また、東京の運輸所では泊行路でありながら休養室が一時的になかった理由を明らかにすること。
9. 大幅な列車遅延で乗務員の食事の手配は、各運輸所では何を基準にしているのかを明らかにすること。
10. 乗務員がどの列車を担当しているのかを各運輸所は把握していなかった。情報の共有はどのようにしていたのか明らかにすること。また、乗務員のクルー化施策で問題点があったか明らかにすること。

**早急に協議の場を設定し、誠意ある回答を示せ！**